

南部・北部委員研修会を開催



夢 風 船

編集・発行
八代人権擁護委員協議会
〒866-0863
八代市西松戸城町11番11号
Tel.0965-32-2654

北部委員研修会の様子（お祭りでんでん館）

令和5年度北部委員研修会
北部副会長 長廣 嘉代子

7月25日（火）午後1時30分から、お祭りでんでん館で北部委員研修会が開催されました。小山会長の人権擁護委員指導者養成研修復講では、デジタルタトゥー、ネット上の人権侵害、啓発活動においては、どのような効果があったかと意識する事が大切等のお話があり、とても良い学びとなりました。

齊藤恵支局長補佐から、「人権相談票の書き方について」お話を頂きました。状況が浮ぶような書き方で接続詞を使って文を長く続けられない「より」より「から」を使用する等も参考になりました。模擬人権相談では「パワハラ問題」を取り上げました。

渡邊委員と山中委員のロールプレイ後、各自で相談票を記入し、グループで意見交換して各班の班長が発表しました。そして齊藤恵支局長補佐から「相談の回答、助言についての解説」がありました。因みに久しぶりに開催された昨年は「セクハラ問題」をテーマに人権相談票の書き方を研修しました。何回研修しても

南部委員研修会

7月19日開催
芦北町総合コミュニティセンター
模擬相談の様子（下）



北部委員研修会（下）
相談事例に対する意見交換

足りない位、対応の難しさを感じます。配布された資料もとても参考になりました。今回は、懇親会もありました。皆様お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



南部委員研修会（上）
相談事例に対する意見交換



「委員会の垣根を越えて!!」

◇吉田和人前会長略歴

平成20年7月1日 人権擁護委員就任
 平成29年4月1日 八代協議会副会長就任
 令和2年4月1日 八代協議会長就任
 令和5年9月30日 人権擁護委員退任
 ★在任期間5期15年



この度、9月30日を以て人権擁護委員を退任致しました。

平成20年7月1日より5期15年、協議会の委員の皆様方の温かい人間性に支えられ充実した気持ちで終えられることに心より感謝申し上げます。

又、法務局の職員の皆様には多様な相談の中での助言、人権啓発活動の知識の修得に向けての指導等、大変お世話になりました。

振り返りますと始まりは、こども人権委員会、次に男女共同参画委員会、最後は高齢者障がい者人権委員会と、幸いにも三つの委員会で活動することが出来ました。

就任当時の協議会活動は、在任中同一の委員会で活動するのが一般的な流れであり、他の委員会への異動希望は到底考えられない状況にありました。当然ながら申し入れをするたびに却下され続け、他の委員さんとの交流も出来ませんでした。

しかし、今では垣根を越えて自分の希望する委員会に異動できる体制になり、委員会同士の交流が深まりました。現在の活発な協議会活動に繋がっていると確信しています。

人権、重いことばですが軽んじられる今の時代。委員の皆様方の果たす役割は重要になってきます。健康に充分留意されて「今できることを皆で考え」楽しくがんばって下さい。

皆様のご活躍と協議会の発展をお祈り申し上げます。

八代市東陽町 吉田 和人

吉田和人前会長におかれましては、5期15年の長きに亘り、人権擁護活動に御尽力をいただき誠に有り難うございました。今後、益々のご活躍とご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

よろしくお祈りします！

※敬称略

◇氏名 井上 正澄
 ◇住所地 八代市
 ◇趣味・特技 家庭菜園、釣り、読書、プロ野球観戦
 ◇所属委員会 高齢者・障がい者人権委員会



新任委員紹介

活動報告

▽男女共同参画委員会

「いきいきサロン」

八代市 山下 俊子

「まずは季節の歌を思いっきり歌いましょう！」で始まる人権講座。

プロジェクトで歌詞を見ながら5曲ほど歌えば喉も心もリラックス。

さて、ここからが本番の人権劇鑑賞です。東陽町文化の祭典で披露した

作品「ステップバイステップ」のDVDをいきいきサロンのお年寄りに

観て頂きます。劇中歌と一緒に口ずさむ人、コミカルな演技にふき出す

人、「そうそう」とうなずく人、いろいろな反応があります。DVDが

終わると、参加者全員による感想発表です。「私たちの時代は、家事は女

がするのが当たり前の時代でした」「でも孫たちは、お互いに家事を分

担してやっていますね」などと自分の家の様子を紹介してくださいます。

「男だから、女だから」ではなく、お

互いの得意なことを生かしながら協力して取り組むことの大切さをわかつてもらえたようです。市内のいきいきサロンは200を超えるとか。今後も精力的にあちこちにお邪魔しようと思っています。



八代市内におけるいきいきサロン人権講座

▽こども人権委員会

「性的マイノリティと人権」

八代市立第四中学校人権教室

八代市 渡邊 裕一

第四中学校では毎年恒例となつている全校生徒参加による人権教室を7月18日(火)に開催しました。

今回は、「LGBTQ+」の生徒が

在籍していることを想定し、学習を深めたいという学校の願いを受けて取り組みました。

学校と綿密に事前打ち合わせをし、「LGBTQ+」についての正しい理解を持ち、誰もが自分らしく生きるため、互いを理解し尊重することの大切さを考えさせることを目的としました。

DVDのドラマを見て、主人公の思いに寄り添わせ、グループで自分の考えを出しあい、さらに全体の場で発表することで思いの共有化を図ることができました。

生徒からは、「自分の判断で決めつけず、相手の意思を尊重することを日頃から大切にし、相手を傷つけないよう今日の学びを生かしていきたい。」「もし自分が友達からカミングアウトされたら、真面目に話を聞き、絶対にアウティングしないようにしたい。」などの感想が多く出され、自分のこととして受け止めてくれた様子が感じ取れました。

今後、多くの学校で、同様の取り組みが進んでいくことを期待したいです。



八代市立第四中学校人権教室

「NTTドコモ

スマホ・ケータイ安全教室」

津奈木町立津奈木中学校

津奈木町 平野 新市

9月12日(火)津奈木中学校体育館において、全校生徒97名と先生方22名が一堂に会し、NTTドコモスマホ・ケータイ安全教室が、NTTドコモインストラクター戸梶滉介さんを講師にオンライン通信で開催されました。

八代人権擁護委員協議会からは地元の実野委員と私、平野が出席しました。

オンライン通信のために生徒の皆

さんには、少し聞きづらかったかも知れませんが「スマホ・ケータイなど使用の際の注意点(個人情報保護、コミュニケーションの仕方、使すぎ等)」について熱心に研修を受けました。ネット上の様々な危険から身を守ることを学ぶことができました。

スマホ・ケータイは、上手な情報活用ができるが、リスクを伴うことを知り得ました。ワークシートをもとにお互いに考え方をグラフ化してみると、一人一人が自分のこととして考え、自分のすぐ近くに起こり得るということに気付かされ、しっかりと受け止めている様子がこの教室で伺えました。

閉会では、「お忙しい中に、このような教室を開いていただき有り難うございました。今日の話聞き、私たちは先のことを考えて行動することが大切だと改めて思いました。そしてワークシートを使い、皆と意見を交わすことで他の考え方を知ることができました。今日はありがとうございました。」と、生徒を代表して鶴田茉央さんからお礼の言葉がありました。

最後にSOSミニレターの紹介をして「一人で悩まないで困ったときは私たちに相談をして下さいね」と伝えて人権教室を終了しました。



スマホ・ケータイ安全教室の様子

に関わる点を掘り下げてもらいました。

DVDは、女優渡辺美佐子さんの一人芝居で、見る者に介護される側、する側の課題をつきつけています。

今回のワークショップでは、ゴールを(グループ宣言)「私たちは高齢者の人権を守るために(.....)」に取り組みます!としました。ただ単に課題や問題点を出し合い、その改善策を生み出すだけでなく、「気づき・考え・行動する」の行動の部分に焦点を当ててみました。明日からの職務や生活に生かしてもらうためです。「介護スキルのレベルアップ、チームプレー」「利用者の状況を十分に理解して丁寧」「その人の理解」「思いやりを持って協力体制づくり」などの前向きな宣言ができ、大きな成果を感じた研修会になりました。

八代市第3・4地域包括支援センターとの共催研修会
水保市 本田 真一
 7月26(水)「桜十字ホールやつしる」にて、八代人権擁護委員協議会と八代市第3・4地域包括支援センターの共催で「権利擁護研修会」を手をとりあつて、みんなの人権を考えよう」を実施しました。
 熊本地方法務局堤八代支局長の挨拶の後、高齢者・障がい者人権委員会の中津委員長から「人権擁護委員の制度」について説明がありました。
 次に、八代市第3地域包括支援センターの中田センター長が「もとのもとく高齢者虐待・人権に関するお話し」をテーマに講演がありました。

参加者は、各施設の職員等スタッフを含め約80名の参加となりました。

人権擁護委員も小山会長をはじめ高齢者・障がい者人権委員会の委員が参加しました。

参加者は、4名ずつの班に分かれグループワークを行い、それぞれの意見や感想を出し合い討論しました。各班とも参加者が熱心に研修会に

▽高齢者・障がい者人権委員会 介護老人保健施設

アメニティゆうりん研修会

八代市 中津 謙一

6月19日(月) 久しぶりに介護施設職員の方々と、直接顔を会わせて「人権」について考える機会を得ました。事前に施設の事務局の方と相談し、DVD「私たちの声が聴こえますか」を中心に、ワークショップで入所者や職員の心情、特に「人権」



アメニティゆうりんでの研修風景

参加し、活発に意見が出て盛り上がり
ていました。

最後に、これまでも、民生・児童委員との合同研修会等で人権擁護委員の認知度を高めてきましたが、今回、アンケートの中に「人権擁護委員というものがあることを初めて知りました。」という感想があり、少しでも人権擁護委員の周知ができたと思えました。



第3地域(松高・八千把地区)、
第4地域(代陽・八代・麦島・郡築地区)管轄する地域包括支援センター関係者との研修会の様子

トピックス

要約筆者って何？

芦北町 濱田 美鈴

要約筆者の存在を知っていますか。私は新聞に掲載された「要約筆者養成講座受講生募集」を見るまで全く知りませんでした。平成27年4月、その記事に興味を持ち、私は受講を申し込みました。

要約筆者とは、話の内容を要約してその場で文字にして伝えることで、聴覚障害者、特に手話習得の困難な中途失聴者や難聴者のコミュニケーションを支援する者です。聴覚障害者というと、みんな手話でコミュニケーションをとっていると思いますが、そうではないのです。手話や手話通訳は2割ほどです。(平成18年厚労省調べ)

要約筆者養成講座では、聴覚障害の基礎知識から福祉制度、対人援助等についての理解を深めたり、利用者のニーズに対応できる要約筆記の知識や技術を習得したりするためのカリキュラム(84時間)に基づいて学びます。

講座修了後、年1回ある全国統一要約筆者認定試験を受け、合格したら要約筆者となります。

私は、平成28年から要約筆者として活動しています。熊本県聴覚障害者情報提供センターから要請を受けて活動します。個人の通院、施設見学や授業参観等。自治体や団体の会議や講演。個人の時は、隣でノートに要約筆記していきます。講演等では、4人グループで投影機を使って会場に映し出します。

技術が必要なので、家で音源を聴いて練習したり、要約筆者のサークルに参加したり、毎年実務者研修を受けたりしてきました。ただ、新型コロナウイルスで、要請そのものが少なくなったこと、豪雨災害で被災し私自身が活動できない日々が続いたことで、この3年はほとんど活動できていません。今回この文章を書くことで要約筆者の認識が広がれば幸いです。

雑学コーナー

「マザーテレサ」、皆さんご存知かと思いますが、少し調べてみました。

マザーテレサ本名アグネス・ゴンジャ・ボヤジュ。誕生は1910年8月26日、死没は1997年9月5日(87歳)です。18歳で修道女会に入り修道院の先生を経て校長に就任しました。1946年修道院を出てホームレスの子ども達に街頭で無料の授業を始める。貧しい人や孤児、ハンセン病の患者など、人のために献身的に尽くしました。1979年ノーベル平和賞受賞。

マザーテレサの名言に①思考に気を付けなさい。それはいつか言葉になるから。②言葉に気を付けなさい。それはいつか行動になるから。③行動に気を付けなさい。それはいつか習慣になるから。④習慣に気を付けなさい。それはいつか性格になるから。⑤性格に気を付けなさい。それはいつか運命になるから。言葉、行動、習慣、性格を意識し自分が求める運命を手にすることができれば最高ですね。他にも皆が愛(やさしい心)をもって人と向き合っていけたなら、相手の気持ちに寄り添った行動を意識していけたら、人を傷つけたりすることもなくなるのではないのでしょうか。(原)

『閑話休題』

随分と以前の話になってしまっただが、ふと、書店の店頭で手に取った本『生き物の死にざま』という書籍名が付けてあった。

いろいろな生物の一生を解説してあるのだが、浅学な私にとっては改めて学ぶと同時に考えさせられた本であった。

みなさんはご存知であったかもしれないが、海にいるタコの頭に見える部分は実は体で、頭は足の付け根のところにあるそうだ。

このタコ、無脊椎動物の中では高い知能を持ち、子煩悩な生物で、オスの子育てが多い中、メスが子育てをして卵が孵化するまでの間(種類によって1〜10ヶ月)一切餌を獲ることもなく外敵から守り続けるそうである。

そして、卵から孵化した子ども達を見届けると、安心したように横たわり、力尽きて死んでゆくという。

昨今、児童虐待という痛ましく、悲しい事件が繰り返されている。

こよなく我が子を慈しむタコの母親に私達人間も大いに学びたいものである。(大)

▽協議会からのお知らせ

○男女共同参画委員会

日時 11月21日(火) 午前10時00分

会場 八代市東陽スポーツセンター

○こども人権委員会

日時 11月16日(木) 午前9時30分

会場 八代支局2階 会議室

○高齢者・障がい者人権委員会

日時 12月12日(火) 午前9時30分

会場 八代支局2階 会議室

▽八代支局からのお願い

○交通法規遵守

及び交通事故の防止について

日頃より、機会あるごとに各種会議で周知しているところですが、改めて交通法規遵守及び交通事故の防止に努めていただきますよう、よろしくお願い致します。

編集後記

今年の夏は、本当に連日暑かったですね。猛暑、酷暑、激暑・・・。そのせいなのか救急車のサイレンの音を聞かない日がなかったように思います。

さて、秋と言えば、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、行楽の秋、食欲の秋、などいろいろあると思いますが、皆さんはどのような秋をイメージしますか？

私は、ゆっくりと普通列車に乗って、海の見える景色を観ながら美味しい駅弁を食べるそんな行楽の秋を満喫してみたいと思います。

皆さんが、これまでに行って良かった、または一度は絶対に行った方がいいと思うところはどこですか？よろしければ広報編集委員会までお知らせください。(小)



人権イメージキャラクター
人KENまる君

令和5年度 啓発活動重点目標

～人権啓発キャッチコピー～

「誰か」のこと じゃない

八代人権擁護委員協議会



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん